

NE209-US

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 3月31日

出 願 番 号
Application Number: 特願2000-096711

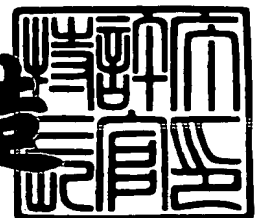
出 願 人
Applicant(s): 日本電気株式会社

#2/

2001年 1月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3001762

【書類名】 特許願

【整理番号】 60301681

【提出日】 平成12年 3月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04B

【発明の名称】 広告提供システム及び広告提供方法

【請求項の数】 6

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 東 富彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100079164

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 高橋 勇

 【電話番号】 03-3862-6520

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 013505

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9003064

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 広告提供システム及び広告提供方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サービス提供サイトとユーザ端末とが通信ネットワークを介して接続され、

前記サービス提供サイトには、音声信号に変換可能な音声広告データを前記ユーザ端末へ送信する音声広告送信手段が設けられ、

前記ユーザ端末には、前記サービス提供サイトから送信された音声広告データを受信する音声広告受信手段と、この音声広告受信手段で受信された音声広告データを音声信号に変換して出力する音声広告出力手段とが設けられた、

広告提供システム。

【請求項 2】 前記ユーザ端末には、前記音声広告出力手段から音声信号が出力された後に広告出力確認信号を前記サービス提供サイトへ送信する確認信号送信手段が更に設けられ、

前記サービス提供サイトには、前記ユーザ端末から送信された広告出力確認信号を受信する確認信号受信手段と、この確認信号受信手段で広告出力確認信号が受信された後にサービス提供を開始するサービス提供開始手段とが更に設けられた、

請求項 1 記載の広告提供システム。

【請求項 3】 前記ユーザ端末が携帯電話機であり、前記通信ネットワークがインターネットである、

請求項 1 又は 2 記載の広告提供システム。

【請求項 4】 サービス提供サイトとユーザ端末とが通信ネットワークを介して接続され、

前記サービス提供サイトは、音声信号に変換可能な音声広告データを前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末は、前記サービス提供サイトから送信された音声広告データを受信し、この音声広告データを音声信号に変換して出力する、

広告提供方法。

【請求項 5】 前記ユーザ端末は、前記音声広告データを音声信号に変換して出力した後に、広告出力確認信号を前記サービス提供サイトへ送信し、

前記サービス提供サイトは、前記ユーザ端末から送信された広告出力確認信号を受信した後に、サービス提供を開始する、

請求項 4 記載の広告提供方法。

【請求項 6】 前記ユーザ端末が携帯電話機であり、前記通信ネットワークがインターネットである、

請求項 4 又は 5 記載の広告提供方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、サービス提供サイトから通信ネットワークを介してユーザ端末へ広告を提供するための、広告提供システム及び広告提供方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、インターネット上での提供されているサービスの大部分は、ユーザ端末としてパーソナルコンピュータが利用されていることを、前提に設計されている。有効なサービスを提供しているホームページには、多くのユーザがアクセスしてくることを見込んで、複数の企業が広告を掲載している。サービスを提供するサイトは、これらの広告収入を収入源としている場合が多く、ユーザにサービスを無料で提供している場合が多い。

【 0 0 0 3 】

広告主が提供する広告には、ユーザの注意を引き付けるためにアニメーションなどがふんだんに盛り込まれている。通常、パーソナルコンピュータには高解像度のディスプレイが装備されており、ユーザはホームページに掲載されている広告を忠実に再現して見ることができる。広告主とサービスを提供するサイトとの契約は、広告が確実にユーザに届き、ユーザが目にすることを前提に成立している。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、この従来技術には次のような問題点があった。

【0005】

その問題点とは、ユーザが使用できるユーザ端末が、高解像度ディスプレイを備えたパーソナルコンピュータに制限されるということである。その理由は、サービスを提供するサイトに掲載される広告が、ユーザの視覚に訴える広告であるためである。広告主が掲載した広告を、ユーザ端末で忠実に再生するためには、高解像度のディスプレイが欠かせない。最近急速に普及している携帯電話機は、ディスプレイが非常に小さく解像度も低いため、今までの広告をそのまま見ることができない。

【0006】

【発明の目的】

そこで、本発明の目的は、低解像度で小さいディスプレイを有するユーザ端末に対しても確実に広告を提供できる、広告提供システム及び広告提供方法を実現することにある。なお、本明細書では、画像（文字を含む）からなる広告を「画像広告」、音声からなる広告を「音声広告」と呼ぶことにする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る広告提供システムは、サービス提供サイトとユーザ端末とが通信ネットワークを介して接続されたものである。そして、サービス提供サイトには、音声信号に変換可能な音声広告データをユーザ端末へ送信する音声広告送信手段が設けられている。ユーザ端末には、サービス提供サイトから送信された音声広告データを受信する音声広告受信手段と、音声広告受信手段で受信された音声広告データを音声信号に変換して出力する音声広告出力手段とが設けられている。

【0008】

サービス提供サイトは、音声信号に変換可能な音声広告データをユーザ端末へ送信する。ユーザ端末は、サービス提供サイトから送信された音声広告データを受信し、この音声広告データを音声信号に変換して出力する。このように、画像

広告ではなく音声広告を用いることにより、低解像度で小さいディスプレイを有するユーザ端末でも、確実に広告が提供される。

【0009】

請求項2記載の広告提供システムは、請求項1記載の広告提供システムに更に次のものが設けられている。ユーザ端末には、音声広告出力手段から音声信号が出力された後に広告出力確認信号をサービス提供サイトへ送信する確認信号送信手段が設けられている。サービス提供サイトには、ユーザ端末から送信された広告出力確認信号を受信する確認信号受信手段と、この確認信号受信手段で広告出力確認信号が受信された後にサービス提供を開始するサービス提供開始手段とが設けられている。

【0010】

サービス提供サイトは、音声信号に変換可能な音声広告データをユーザ端末へ送信する。ユーザ端末は、サービス提供サイトから送信された音声広告データを受信し、この音声広告データを音声信号に変換して出力し、広告出力確認信号をサービス提供サイトへ送信する。すると、サービス提供サイトは、ユーザ端末から送信された広告出力確認信号を受信し、サービス提供を開始する。このように、ユーザ端末で音声広告が出力されたことが、サービス提供サイトで確認される。したがって、ユーザ端末で音声広告が出力されていないにもかかわらず、サービス提供サイトからサービス提供を開始してしまうことがない。

【0011】

請求項3記載の広告提供システムは、請求項1又は2記載の広告提供システムにおいて、ユーザ端末を携帯電話機、通信ネットワークをインターネットとしたものである。

【0012】

近年、携帯電話機及びインターネットが急速に普及しつつある。一方、携帯電話機は、小型軽量であることが絶対条件であるため、ディスプレイが低解像度で小さいものになってしまう。したがって、携帯電話機及びインターネットに本発明を適用することにより、携帯電話機を用いたインターネットサービスにおいて、広告の対価としてのサービス提供が容易に実現される。

【 0 0 1 3 】

請求項 4 乃至 6 記載の広告提供方法は、請求項 1 乃至 3 記載の広告提供システムに対応するものであり、これらと同等の作用を奏する。

【 0 0 1 4 】

本発明に係る広告提供システム及び広告提供方法について、言葉を変えて更に詳しく説明する。

【 0 0 1 5 】

本発明は、通信ネットワークを介してサービスを提供している業者が、サービスを提供する前に音声による広告をユーザに聞かせることにより、契約している広告主から広告料金を得るビジネスモデルに関する。

【 0 0 1 6 】

本発明に係る広告提供システムは、ユーザ端末と、サービス提供サイトと、これらを相互に接続するインターネット等の通信ネットワークとから構成されている。

【 0 0 1 7 】

ユーザ端末は、音声データを再生する機能と、インターネット等の通信ネットワークへ接続できる機能とを備えた端末機器であり、例えば携帯電話機、携帯型情報機器、パーソナルコンピュータ等である。詳しく言えば、ユーザ端末は次の各機能を有する。①. サービス提供サイトが通信ネットワークを介して送出する音声による広告を、再生する機能。②. サービス提供サイトが通信ネットワーク上で提供しているサービスを、音声又は画面表示等を通して要求し、これを利用する機能。③. 通信ネットワークに対して有線又は無線により相互に接続できる機能。

【 0 0 1 8 】

サービス提供サイトは、サーバ等のホストコンピュータ内に実現されており、通信ネットワーク上でサービスを提供する。つまり、サービス提供サイトは、サービス提供者によって運営されている。その運営費は、サービス提供者が契約した広告主からの広告収入で賄われている。サービス提供者と広告主とは、異なる場合もあれば、同じ場合もある。サービス提供サイトは、次の各機能を有する。

①. ユーザがユーザ端末を利用して送出したサービス利用要求を受け取り、サービスを提供する前に、広告主の広告を音声で通信ネットワークを介してユーザ端末へ送出する機能。②. 音声による広告をユーザ端末へ全て送出し終わった後、ユーザが要求したサービスをユーザ端末から利用可能な状態にし、サービスを開始する機能。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明に係る広告提供システムの一実施形態を示す機能ブロック図である。以下、この図面に基づき説明する。

【 0 0 2 0 】

本実施形態の広告提供システムは、サービス提供サイト 1 0 と、ユーザ端末としての携帯電話機 2 0 とが、通信ネットワークとしてのインターネット 3 0 を介して接続されたものである。

【 0 0 2 1 】

サービス提供サイト 1 0 には、音声信号 a に変換可能な音声広告データ A を携帯電話機 2 0 へ送信する音声広告送信手段 1 2 と、携帯電話機 2 0 から送信された広告出力確認信号 B を受信する確認信号受信手段 1 4 と、確認信号受信手段 1 4 で広告出力確認信号 B が受信された後にサービス提供を開始するサービス提供開始手段 1 6 とが設けられている。音声広告送信手段 1 2、確認信号受信手段 1 4 及びサービス提供開始手段 1 6 は、例えば、サーバ（プロバイダが所有するホストコンピュータ）及びそのプログラムによって実現されている。

【 0 0 2 2 】

携帯電話機 2 0 には、サービス提供サイト 1 0 から送信された音声広告データ A を受信する音声広告受信手段 2 2 と、音声広告受信手段 2 2 で受信された音声広告データ A を音声信号 a に変換して出力する音声広告出力手段 2 4 と、音声広告出力手段 2 4 から音声信号 a が出力された後に広告出力確認信号 B をサービス提供サイト 1 0 へ送信する確認信号送信手段 2 6 とが設けられている。音声広告受信手段 2 2、音声広告出力手段 2 4 及び確認信号送信手段 2 6 は、例えば、携帯電話機 2 0 に内蔵されているマイクロコンピュータ及びそのプログラムによっ

て実現されている。また、携帯電話機20には、電氣的な音声信号aを音声（音波）に変換するスピーカ28が付設されている。

【0023】

サービス提供サイト10は、音声信号aに変換可能な音声広告データAを携帯電話機20へ送信する。携帯電話機20は、サービス提供サイト10から送信された音声広告データAを受信し、音声広告データAを音声信号aに変換して出力し、広告出力確認信号Bをサービス提供サイト10へ送信する。すると、サービス提供サイト10は、携帯電話機20から送信された広告出力確認信号Bを受信し、サービス提供を開始する。このように、画像広告ではなく音声広告を用いることにより、低解像度で小さいディスプレイを有する携帯電話機20でも、確実に広告が提供される。しかも、携帯電話機20で音声広告が出力されたことが、サービス提供サイト10で確認できるので、携帯電話機20で音声広告が出力されていないにもかかわらず、サービス提供サイト10からサービス提供を開始してしまうことがない。

【0024】

本実施形態の広告提供システムについて、更に詳しく説明する。

【0025】

ユーザは、自分の携帯電話機20を利用し、インターネット30を介してサービス提供サイト10にサービス利用要求を送出する。サービス提供サイト10は、ユーザからのサービス利用要求を受け取ると、事前に契約している広告主の広告を音声の形式でインターネット30を介して携帯電話機20へ送出する。ユーザは、携帯電話機20を利用してサービス提供サイト10から受け取った音声を再生し、サービス提供サイト10の広告主の広告を聞く。広告主の広告の送達が終了した後で、サービス提供サイト10は、ユーザから要求のあったサービスを、インターネット30を介してユーザに提供する。つまり、ユーザは、携帯電話機20を利用して広告主の広告を音声で聞いた後、サービス提供サイト10からインターネット30を介して希望したサービスを利用する。

【0026】

図2は図1の広告提供システムにおける動作の一例を示すフローチャートであ

り、図 2 [1] は携帯電話機側の動作、図 2 [2] はサービス提供サイト側の動作である。図 3 は、携帯電話機のスピーカから音声広告が再生される状態を示す正面図である。図 4 は、携帯電話機のディスプレイにおける表示画面を示す正面図である。以下、図 1 乃至図 4 に基づき、本実施形態の広告提供システムの動作を具体的に説明する。

【 0 0 2 7 】

まず、ユーザは、サービス提供サイト 1 0 がインターネット 3 0 上に開設しているサービス提供用のホームページに、自分の携帯電話機 2 0 を介してアクセスする。これにより、本実施形態の広告提供システムとしての動作が始まる。サービス提供サイト 1 0 は、このアクセスに応答して、広告主の広告を音声の形で携帯電話機 2 0 へ送信する（ステップ 2 0 1）。

【 0 0 2 8 】

携帯電話機 2 0 は、サービス提供サイト 1 0 から送られてきた音声広告を受信し（ステップ 1 0 1）、これをスピーカ 2 8 で再生する（ステップ 1 0 2）。これにより、ユーザは、携帯電話機 2 0 を介して、サービス提供サイト 1 0 の広告主の広告、例えば「〇〇〇社の△△△製品は高品質で低価格です」を聞く（図 3）。携帯電話機 2 0 は、サービス提供サイト 1 0 から送られた音声広告をすべて再生し終わった時点で、広告の再生が終了したこと（確認信号）を、インターネット 3 0 を介してサービス提供サイト 1 0 へ通知する（ステップ 1 0 3）。

【 0 0 2 9 】

サービス提供サイト 1 0 は、これに응答して、サービス選択用のサービスメニュー（図 4）を携帯電話機 2 0 へ送信する（ステップ 2 0 2, 2 0 3）。一方、何らかの理由により、確認信号を受信できない場合は、サービスを提供しない（ステップ 2 0 2）。これにより、本実施形態の広告提供システムとしての動作は終了する。

【 0 0 3 0 】

続いて、ユーザは、携帯電話機 2 0 のディスプレイ 3 2（図 3）に表示された図 4 のようなサービスメニューから希望のサービスを選択し、図 4 に示す送信ボタンを押すことによって、サービス提供サイト 1 0 へサービスの提供要求を送信

する。サービス提供サイト 1 0 は、これに応答して、ユーザが要求したサービスを実行する。

【 0 0 3 1 】

なお、上記実施形態は、請求項 2，5 に対応するものである。請求項 1，4 に対応したものとするために、確認信号送信手段 2 6、確認信号受信手段 1 4 及びサービス提供開始手段 1 6 を省略してもよい。

【 0 0 3 2 】

【発明の効果】

本発明に係る広告提供システム及び広告提供方法によれば、サービス提供サイトからユーザ端末へ広告を送信するときに、画像広告ではなく音声広告を用いることにより、低解像度で小さいディスプレイを有するユーザ端末でも、確実に広告を提供できる。

【 0 0 3 3 】

換言すると、第一の効果は、サービスを提供するサイトを運営している会社が、サービスの利用者を増やすことができ、その結果として広告主からの広告収入を増やすことができることである。その理由は、広告を音声の形で提供することにより、高解像度のディスプレイを備えていないユーザ端末に対しても、広告を届けることができるからである。第二の効果は、広告に触れるためのユーザの苦労を低減でき、広告の効果を向上できることである。その理由は、広告を音声で提供することにより、携帯電話機のように画面上の操作が困難なユーザ端末であっても、特別な操作をすることなく広告に触れることができるためである。

【 0 0 3 4 】

請求項 2 記載の広告提供システム及び請求項 4 記載の広告提供方法によれば、ユーザ端末で音声広告が出力されたことをサービス提供サイトで確認できることにより、ユーザ端末で音声広告が出力されていないにもかかわらず、サービス提供サイトからサービス提供を開始してしまうことを防止できる。換言すると、サービス提供サイトが、サービスを提供する前にユーザに広告を聞かせるようにしたため、より確実に広告をユーザに触れさせることができる。

【 0 0 3 5 】

請求項 3 記載の広告提供システム及び請求項 6 記載の広告提供方法によれば、ユーザ端末を携帯電話機、通信ネットワークをインターネットとしたことにより、本発明の効果を最も発揮できる。その理由は、携帯電話機によるインターネットサービスは、急速に普及しつつあるものの、携帯電話機のディスプレイが低解像度で小さいため、画像広告がなじまないからである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る広告提供システムの一実施形態を示す機能ブロック図である。

【図 2】

図 1 の広告提供システムにおける動作の一例を示すフローチャートであり、図 2 [1] は携帯電話機側の動作、図 2 [2] はサービス提供サイト側の動作である。

【図 3】

図 1 の広告提供システムにおいて、携帯電話機のスピーカから音声広告が再生される状態を示す正面図である。

【図 4】

図 1 の広告提供システムにおいて、携帯電話機のディスプレイに表示される画面を示す正面図である。

【符号の説明】

- 1 0 サービス提供サイト
- 1 2 音声広告送信手段
- 1 4 確認信号受信手段
- 1 6 サービス提供開始手段
- 2 0 携帯電話機（ユーザ端末）
- 2 2 音声広告受信手段
- 2 4 音声広告出力手段
- 2 6 確認信号送信手段
- 2 8 スピーカ
- 3 0 インターネット（通信ネットワーク）

3 2 ディスプレイ

A 音声広告データ

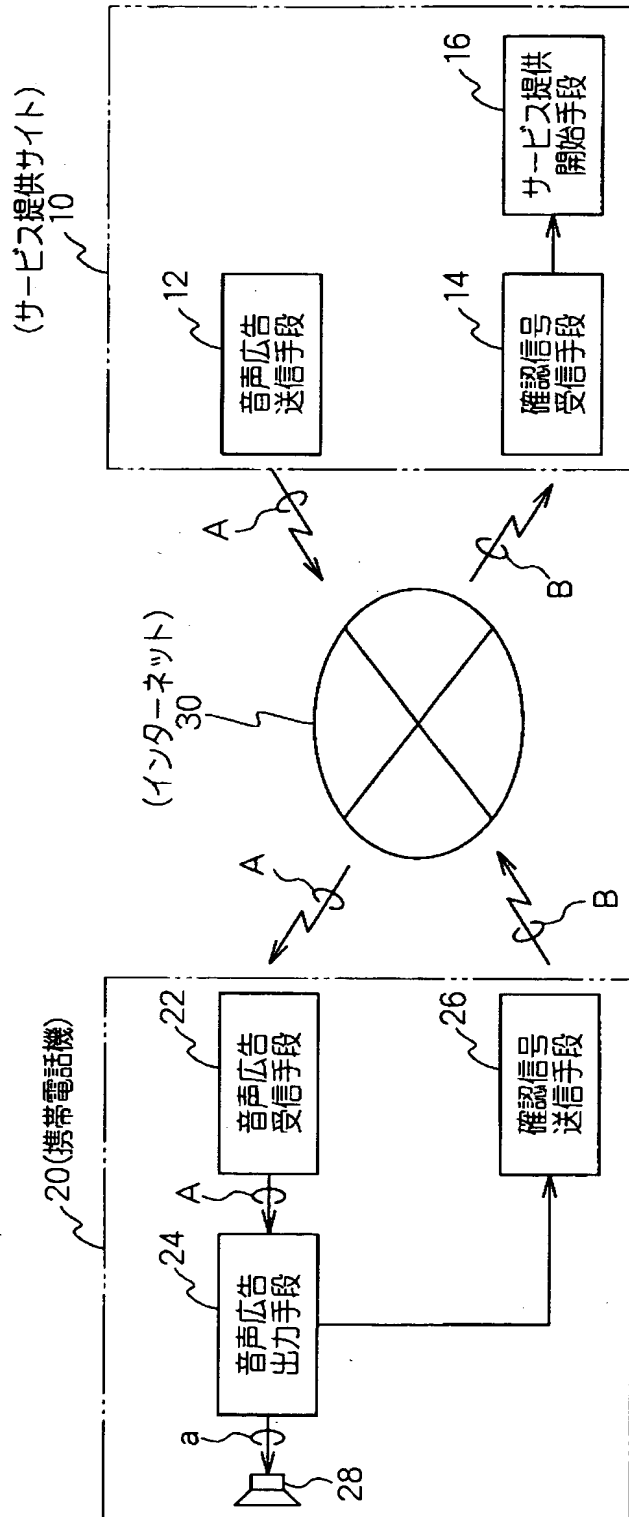
a 音声信号

B 広告出力確認信号

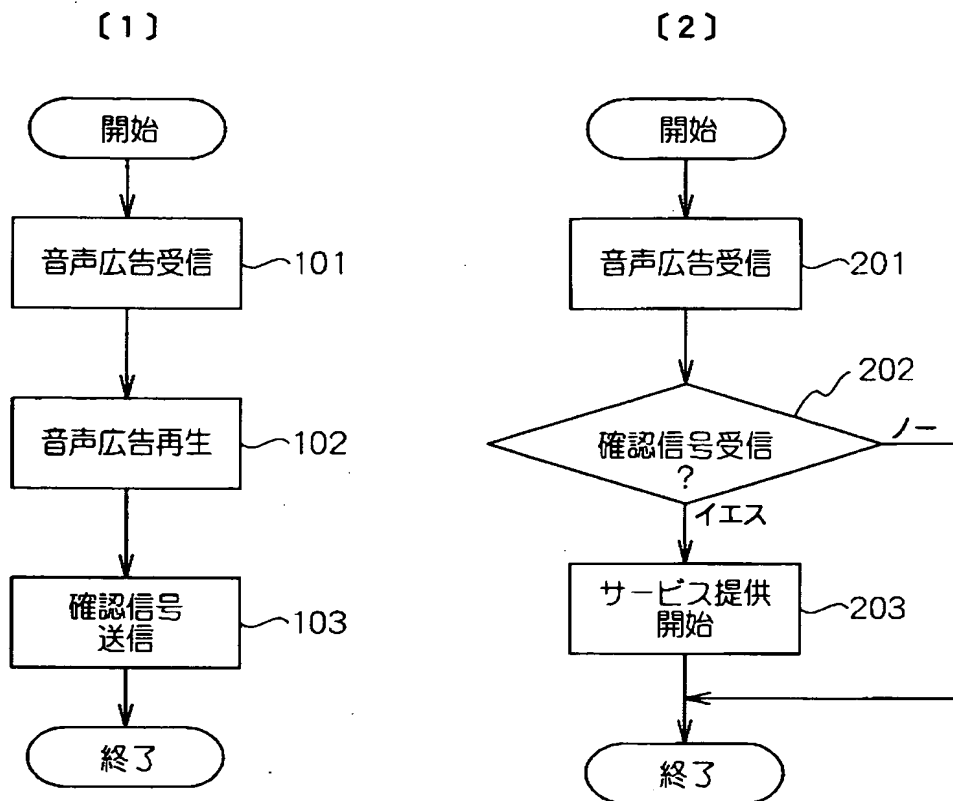
【書類名】

図面

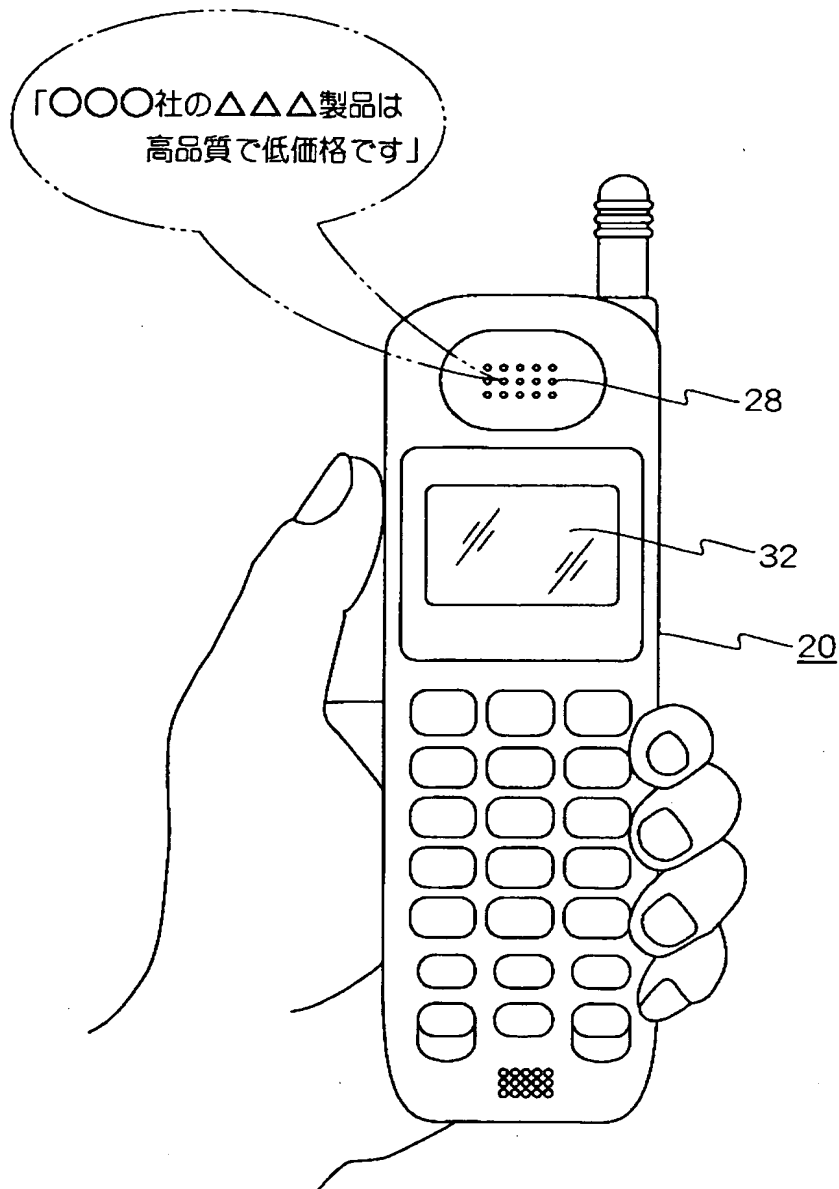
【図 1】



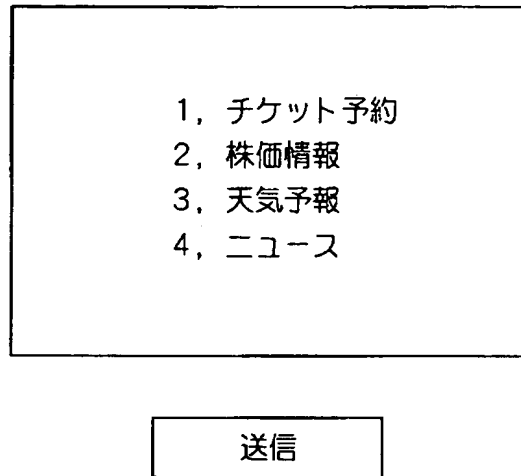
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 低解像度で小さいディスプレイを有するユーザ端末に対しても、確実に広告を提供する。

【解決手段】 サービス提供サイト 1 0 は、音声信号 a に変換可能な音声広告データ A を携帯電話機 2 0 へ送信する。携帯電話機 2 0 は、音声広告データ A を受信し、音声広告データ A を音声信号 a に変換して出力し、広告出力確認信号 B をサービス提供サイト 1 0 へ送信する。すると、サービス提供サイト 1 0 は、広告出力確認信号 B を受信し、サービス提供を開始する。このように、画像広告ではなく音声広告を用いることにより、低解像度で小さいディスプレイを有する携帯電話機 2 0 でも、確実に広告が提供される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社